

平成20年度 学校経営方針

◎ 学校教育目標

「人権尊重の精神に満ち、よく考えてたくましく実践する
心情豊かな子どもの育成」

〈めざす学校像（ビジョン）〉

- 個に応ずる指導を通して基礎学力の定着を図る学校
- 体験活動等を重視した豊かな心を育てる学校
- 健康に目を向け、より豊かな生活を希求する子を育てる学校
- 保護者・地域に信頼される学校

〈めざす子ども像〉

- ① 幅広い心で助け合う子ども
- ② がんばり強く元気な子ども
- ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

◎ 学校経営の方針

全教職員が創意を結集して学校教育目標の達成を図る。

- 1 学校教育目標達成の諸計画を立案し、研究実践をする。
 - ・ 子どもたちの実態をふまえ、学校経営計画に沿った学級経営の具体的目標を設定し、実践・検証を行う。
 - ・ 学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価に努める。
- 2 生涯学習のもととなる、基礎・基本の確実な定着と、学ぶ意欲を育てる学習指導の充実を図る。
 - ・ 指導方法の工夫改善により、個に応じた指導を通して基礎・基本の定着・向上を図る。
 - ・ 学習の仕方を身につけさせ、進んで取り組み、やり抜く態度を育てる。

- 3 思いやりのある・感動する子どもを育てる教育活動の充実に努める。
 - ・ 基本的な生活習慣の定着を図る。
 - ・ 年間指導計画に基づいた道徳教育の充実（教材の開発、「心のノート」の活用等）を図り、道徳的実践力を培う。
 - ・ 自然体験、社会体験学習等を通して、豊かな心を育てる。
- 4 自らの健康に目を向けさせ、豊かな生活を希求する態度を育てる。
 - ・ 体育科の授業はもとより、教育活動全体を通じた体力づくりに努める。
 - ・ 保健指導の充実に努める。
- 5 家庭や地域社会と協力し、子どもの健全な育成に努める。
 - ・ 学校・家庭・地域の三者が力を合わせて子どもを育てる。
 - ・ 子どもたちにとって身近な地域、地域にとって身近な学校として、相互交流を進める。
 - ・ 開かれた学校の視点に立ち、学校の教育活動の情報を公開し、家庭や地域の理解を得る努力をし、家庭や地域の願いに耳を傾ける。
- 6 学校の環境整備と、学校内外の環境の活用を図る。
 - ・ 学校環境等を体験学習の場にふさわしいものにする。
 - ・ 学校教育環境の整備・美化に努める。
- 7 専門性をもった一人ひとりを基盤にした「協働」の体制をつくり、切磋琢磨する職場づくりをめざす。
 - ・ 専門性を高めるための研修に励み、指導力の向上を図るとともに、新しい教育への対応に努める。
 - ・ カウンセリング的対応（指導）の重要性を認識し、研修に励む。
 - ・ 組織的な活動と分担業務の責任遂行、並びに報告、連絡、相談を心掛ける。